

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ビビッド六甲		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 23日		～ 2026年 2月 8日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 7
○従業者評価実施期間	2026年 1月 22日		～ 2026年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの特性を理解して状況に応じた対応をしている。	子どものその日の気分や体調、周囲の状況を丁寧に観察し、無理のない範囲で活動に取り組めるよう、声掛けや環境を工夫しています。	日々の関わりの中で得た気づきをスタッフ全員で共有し、より多角的な視点から子どもをサポートできる体制を強化します。一人一人に寄り添った柔軟な対応を継続し、事業所全体で支援の質の向上を図ります。
2	連絡事項や子どもの日々の様子を保護者とスタッフがリアルタイムで共有できている、	保護者様向けにはアプリを活用し、お子様の当日の様子をリアルタイムに保護者様と共有しています。保護者様からの欠席の連絡やご要望、ご相談にも迅速に返信し安心感につなげています。また、職員間ではアプリにより、申し送り事項や急な体調変化、支援の注意点を全スタッフが即座に確認・共有することで、一貫性のある支援につなげています。	今後は、発信する情報の質をさらに高めるために、記録の取り方について研修を行います。また保護者様からのフィードバックをより迅速に日々の支援プログラムに反映させるなど、ICTを通じた双方向のコミュニケーションをさらに深めてまいります。

3			
---	--	--	--

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者間の交流や保護者への研修の機会が少ないことが課題であると認識しています。	交流の目的や研修内容の設定など、保護者のニーズに合わせる必要がある。	大規模でなくとも保護者様同士が交流できる機会を設けていくことが望ましいと考えております。保護者様に面談等でニーズを聞き取り、参加したいと思っただけの内容を検討していきます。
2	事業所内の活動や環境について、保護者様へ十分にお伝えできていないことがあるので、より丁寧にお伝えしていきます。	各種マニュアルや安全計画等は作成しておりますが、開示が不十分だと感じられていることがあるとアンケート結果から認識しております。	新規契約時だけでなく、必要に応じてマニュアルの内容を対面で一読・確認する機会を設けます。避難訓練等実施日には、アプリを通じて訓練の様子や具体的な内容を報告いたします。活動を可視化することで、事業所の備えを保護者様に安心していただけるよう努めます。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ビビッド六甲

公表日 2026年2月4日

利用児童数

12人 令和8年2月10日

回収数 7

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	5			2		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	5	1		1		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	4	1		2		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	5			2		
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6	1				
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	6	1				
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	7					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	7					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	7					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	5	2				
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	1	1	2	3		今後実施を検討いたします。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4	2		1		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	5	1		1		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1	2	3	1		今後実施を検討いたします。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	6	1				
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6	1				
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	7					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	1	4	1		保護者会、保護者間の交流等の機会は設けられていません。今後保護者の方のニーズを把握し必要に応じて検討いたします。
	19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4	2		1		
20 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	5	2					
21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	4	2		1			

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	5	1		1	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3	1		3	新規契約時だけでなく、個別面談の際等マニュアルの再説明を行う時間を設けます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2	1		4	訓練実施日には、アプリを通じて訓練の具体的な様子を報告いたします。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4	2		1	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	4	1		2	
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	6	1			
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	7				
	29	事業所の支援に満足していますか。	6	1			

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	ビビッド六甲	公表日	2026年 2月 4日
------	--------	-----	-------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		人数に合ったスペースを確保できていると思います。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		利用人数に応じた人員配置はできていると思います。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○		玄関に段差がある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		療育に清掃の時間を毎日取り入れているので、児童が気持ちよく清潔に過ごせていると思います。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		○		運動用具などを置いている部屋を個室として利用できるように整理する。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		一日の業務分担を行い、全員がアプリを利用して報告・連絡・相談を行い、意見を取り入れるようにしている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		アンケートを実施し、面談時や送迎時に聞き取れなかった希望や意見を聞き取り事業所にて会議を行い改善につなげている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		何かあれば、職員が運営管理の方へ報告・相談を行っている。その内容をもとに話し合いを行い、必要時は改善を行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		完全な第三者による外部評価を行っていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		○		外部研修等に参加や、もう少し専門的な研修が必要だと思います。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		○		適切な支援プログラムが公表できていない。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		児童や保護者への面談内容、スタッフの情報をもとに計画作成を行っている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		面談には、スタッフも同席し計画案の一部を提案したり職員共通理解の下で検討できている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支援計画作成時、他の職員も関わるようになっていく。支援する際は、情報を共有し計画に沿った支援を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		支援ツールアプリのアセスメントを利用してアセスメントを行い、職員全員がわかるように共有しています。日々の気づき等は、アプリを用いて情報共有をしています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインを確認したうえで、担当者会議で意見を出し合いながら必要な項目が漏れないように再確認して支援内容を決めています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		職員で話し合った療育の年間計画をもとに、その日の児童の特性に合わせた活動プログラムを作成しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		会議を開催し、現在のプログラムの状況の確認や課題・問題点の改善、新たなプログラムについて打ち合わせを行っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別活動と集団活動を入れた支援計画を作成し、日々の活動プログラムも個別・集団活動に取り組みるように支援しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝礼をするようにしている。	

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		終礼をするようにしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日報、提供記録の作成をすることで記録している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年に一度はモニタリングを行い、見直しを実施している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○		バランスよく療育活動に組み込んでいる。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		本人からの意思表示があった場合、本人の意思を尊重して活動参加を無理強ひさせないようにしている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		相談支援員や学校の担任の先生方が出席してくださっている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			地域との関わり合いを密にしている。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		HPでスケジュールを確認したり、連絡先の共有などを行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		春日野、東灘との情報共有を行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		就労先に電話で特性や配慮することの引継ぎを行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			地域の支援センターとの連携を図る。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			地域や他施設と活動する機会を設ける。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			機会があれば参加していく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時に当日の様子とできたこと、課題点については必ず報告するようにしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			今後、家族等が参加できる研修の機会を設けていく。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		送迎時やアプリメール等で話しやすい環境を整えている。保護者とは定期的に面談の機会を設けている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		アプリを用いて口頭で説明を行い、同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		相談があった場合は事業所内で共有し、必要に応じて面談や送迎時等に助言を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○			ニーズがあれば保護者会などの開催を検討する。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			現在のところ、苦情はない。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		イベントの告知などをアプリにて前もってお知らせしている。	
43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報に記載されている書類等は事務所に保管している。		

	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		絵カード、手話などノンバーバルなコミュニケーションを積極的に行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		地域交流を始める。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○		家族への周知が直前になってしまうこともあるので、早い段階からお知らせできるようにする。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		年に二回以上は避難訓練の実施を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時に保護者から情報を提供してもらい、定期的に現状についての聞き取りを実施している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		要指示書のコピーの保管をしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		マニュアルを作成し、目につきやすい場所に置いている。怪我のリスクが高いものは児童の手の届かない場所に保管している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		契約時に施設内の案内を実施している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		毎日、日報で記録している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		安全計画に基づき訓練を行っている。ガイドラインを策定し、入社時に周知し、その後改定する毎にスタッフ全員に周知している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		対象となる児童がいないため未実施。		